

INFORMATION

関連情報

「開校100年 きたれ、バウハウス —造形教育の基礎—」

バウハウス100周年を日本で祝う巡回展「きたれ、バウハウス」展では、バウハウスの教育の核心にあり数々のデザインが生まれる土台となった基礎教育を展示の柱に、クレイやカンディンスキーなど各教師たちの授業内容を紹介し、さらに各工房で繰り広げられたバウハウス教育の豊かな成果と広がりをご覧ください。

巡回会場・会期

- 新潟市美術館 終了
- 西宮市大谷記念美術館
2019年10月12日[土]—12月1日[日]
- 高松市美術館
2020年2月8日[土]—3月22日[日]
- 静岡県立美術館
2020年4月11日[土]—5月31日[日]
- 東京ステーションギャラリー
2020年7月17日[金]—9月6日[日]



主催:各開催館(左記5館)、
バウハウス100周年委員会
■bauhaus100 japan
www.bauhaus.ac/
bauhaus100/

西宮市大谷記念美術館展覧会ホスター

「新装版 バウハウス叢書」が好評刊行中!



「新装版 バウハウス叢書」

編集:ヴァルター・グロピウス、L・モホリ＝ナギ
日本語版編集委員:利光 功・宮島久雄・貞包博幸
体裁:B5判変型・並製カバー装
定価:各巻 本体価格1,800円~3,900円+税
刊行:2019年8月刊行開始—2020年8月完結予定



中央公論美術出版
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-10-1
IVYビル6F Tel: 03-5577-4797
Fax: 03-5577-4798
Email: chukobi@chukobi.co.jp

バウハウスで1925年~29年に刊行された「バウハウス叢書(BAUHAUSBÜCHER)」は、バウハウスの著名なマイスターであるクレイやカンディンスキー、当時の国際的な芸術運動を担ったモンドリアン、ドゥースブルフ、マレーヴィチらを執筆陣に迎え、先鋭的な造形理論とブックデザインで、世界に鮮烈な印象を与えました。バウハウスの理念と活動を現代に伝える全14冊は、アートとデザインのマスターワークとして今なお読み継がれています。バウハウス100周年の今年、オリジナルに忠実な装丁・レイアウト、詳細な訳者解説で好評を博した日本語版「バウハウス叢書」(全14巻、中央公論美術出版)が新装版として復刊中です。

バウハウス100周年 @ SHIBUYA TSUTAYA 開催!

バウハウス100周年を記念し、渋谷の入り口にあるSHIBUYA TSUTAYAで、フェアを開催! 書籍や映像フロアでのコーナー展開やイベントを通してバウハウスの魅力を発見してください。



実施場所: SHIBUYA TSUTAYA
4F(映像レンタルフロア)、
7F(書籍フロア)
実施期間: 11月1日[金]—12月31日[火]

SHIBUYA TSUTAYA 7F

SCHEDULE

バウハウス100年映画祭 スケジュール

11月23日 [土]

開始時刻	14:30	17:10	19:10
プログラム	A + トーク	B	C

11月24日 [日]

開始時刻	14:30	17:00	18:50
プログラム	B + トーク	C	D

11月25日 [月]—27日 [水]

開始時刻	14:50	17:00	19:00
プログラム	A	C	D

11月28日 [木]—30日 [土]

開始時刻	14:50	17:00	19:10
プログラム	B	A	C

12月1日 [日]

開始時刻	14:30	17:00	19:00
プログラム	D + トーク	B	C

12月2日 [月]—6日 [金]

開始時刻	14:50	16:50	19:00
プログラム	D	A	B

12月7日 [土]

開始時刻	14:30	16:50	19:00
プログラム	C + トーク	B	D

12月8日 [日]

開始時刻	14:30	16:50	19:00
プログラム	C + トーク	A	D

12月9日 [月]—12日 [木]

開始時刻	14:50	16:50	18:50
プログラム	C	B	A

- A 『バウハウス原形と神話』
- B 『バウハウス・スピリット』
- C 『ミース・オン・シーン』
- D 『マックス・ビルー 絶対的な視点』
- 『ファグスーグロピウスと近代建築の胎動』
- 『バウハウスの女性たち』

●トークイベントは上映終了後に行います。ゲスト等の情報につきましては、作品公式サイト、公式SNS、ユーロスペース公式サイトにて随時お知らせいたします。

BAUHAUS



100 Jahre Bauhaus Filmfestival

バウハウス100年映画祭

モダニズムの源流
バウハウスの世界にようこそ

バウハウスを観よ!
11月23日[土]から
12月12日[木]まで

特別鑑賞券2回券
¥2,600 [税込] 絶賛発売中!
劇場窓口でお買い求めの方に、
特製トートバッグプレゼント!
[数量限定]



渋谷・Bunkamura前交差点左折
ユーロスペース
EUROSPACE
TEL.03-3461-0211 www.eurospace.co.jp



配給:トレノバ
協力:ゲーテ・インスティテュート東京
後援:在日スイス大使館、バウハウス100周年委員会、German Films



20世紀の二つの大戦の間にドイツに生まれた デザイン・アート・建築の奇跡“バウハウス”。 バウハウスとはいったい何なのか？



BAUHAUS

全6作品を4プログラムで上映

建築やデザインに興味のある人ならその名を聞いたことがあるだろう。モダニズムのバイオニアとして、建築、インダストリアルデザイン、グラフィック・アート、写真など広範な分野で世界に衝撃と感動をもたらしたバウハウス。それは、1919年、第1次大戦後のドイツで、芸術と技術の新たな統合を目指し創設された学校だ。創設者は、フランク・ロイド・ライト、ル・コルビュジエと並ぶ近代建築の巨匠、ヴァルター・グロピウス。そして三代目校長はもう一人の近代建築の巨匠、ミース・ファン・デル・ローエが務めた。その学校はこれまでになかった独自の教育システムを作り上げ、様々な芸術分野に革新をもたらしたが、ナチスの迫害を受け、わずか14年間の活動で幕を閉じる。しかし、現代の生活環境・様式につながるモダニズムの基礎を作り、造形教育の規範を作ったことで、バウハウスは今なお世界中の建築やデザインなどに影響を与え続けている。グロピウスやミースをはじめ、信じがたいほど豪華な教師陣、パウル・クレー、ヴァシリー・カンディンスキー、ヨハネス・イッテン、ラーズロー・モホイ＝ナジ、ハンネス・マイヤーなどが集い、ヨゼフ・アルバース、マルセル・ブロイヤー、マックス・ビルなど名だたる才能を生み出したバウハウス。伝説的な創造者たちが理想に燃えて突き進んだ時代。そして生み出された奇跡。誕生から100年という節目を迎え、バウハウスとは何なのかを紐解いていく。

PROGRAM



監督:ニールス・ポルプリンカー、ケルス・ティン・シュトゥッテルハイム
出演:ヴァルター・グロピウス、ヴォルフ・ヒルデブラント、ゲルトルト・アルト、フーベルト・ホフマン、ピウス・パール
●1999・2009/ドイツ/103分/
原題: Bauhaus - Modell und Mythos

バウハウス原形と神話

超一流の芸術家が集い、斬新な造形教育で名を馳せたバウハウス。わずか14年で広範な芸術分野に革命を起こしたその足跡は時を経て神話となったが、そこには時代の波に翻弄された芸術家たちの喜びや苦闘、そして光と影があった。伝説的な教師たちの薫陶を受け、自身も芸術家として大成した当時の学生たちの証言や、貴重な記録によって、バウハウスがたどった激動の道と知られざる物語が明かされる。

PROGRAM



監督:ベップ・マルティン、シャビ・カンブレシオス
出演:ルートヴィヒ・ミース・ファン・デル・ローエ、フリッツ・ノイマイヤー、エドゥアルド・メンドーサ、バリッ・バグドール、オリオル・ポイェガス
●2018/スペイン/58分/原題: MIES ON SCENE

ミース・オン・シーン

近代建築の三大巨匠の一人、ミース・ファン・デル・ローエ。彼の代表作の一つがモダニズム建築の最高峰と称される「ワッセロナ・パビリオン」。2ヶ月という短い期間で作られられたこの建物が、なぜ今なお語り継がれる傑作となったのか。この仕事を手掛けた後にバウハウスの三代目校長に就任するミースは、建築をどのように考えていたのか。当時の記録と現代一流の建築家や学者などの証言で検証する。

PROGRAM



監督:ニールス・ポルプリンカー、トーマス・ティエルシュ
出演:トルステン・ブルーム、ローザン・ポッシュ、アルフレード・ブリレンブル、シュテファン・コヴァツ、フーベルト・クルプナー
●2018/ドイツ/52分/原題: Vom Bauen der Zukunft - 100 Jahre Bauhaus



バウハウス・スピリット

バウハウスが掲げたテーマは今も世界のテーマであり続けている。スウェーデンの教室も時間割もない学校、ヴェネチア・ヴィエンナーレ金獅子賞を受賞したアーバン・シンクタンクが取り組む南米スラム街の住環境改善、低価格でバウハウスの家具を復刻させる試み、バウハウスの造形理論を身体で表現するプロジェクトなど、豊かな発想と斬新な手法で注目を集める人々を追い、現代に生きるバウハウスの精神を映し出す。

PROGRAM

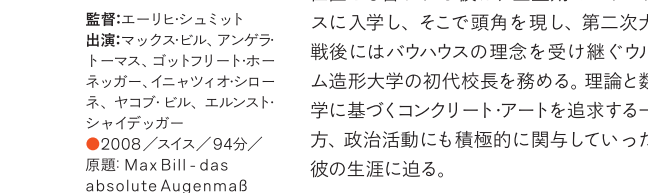
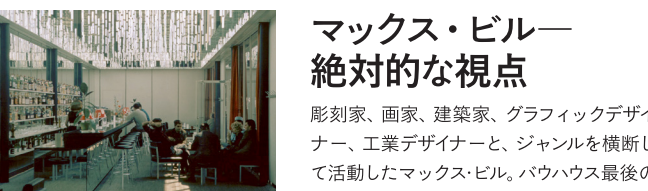
ファグスー グロピウスと近代建築の胎動

バウハウス開校の8年前、モダニズム建築の嚆矢となる「ファグス靴型工場」が建てられる。若き日のグロピウスとアドルフ・マイヤーは“労働者のための宮殿”を作りたいという工場主ベンシャイトの夢を実現すべく、明るく衛生的で、快適な新時代の工場を作り上げた。世界遺産に登録された現在もお現役のこのガラス張りの工場を、彼らはどのような思いで作ったのか。その足跡を追う。



監督:ニールス・ポルプリンカー
出演:アンネ・マリー・イェギ、エルンスト・グレーテ、ヴァルター・シャーバー、エビファニオ・ディ・ロレンツォ
●2011/ドイツ/27分/
原題: Fagus - Walter Gropius und die Fabrik der Moderne

PROGRAM



監督:エーリヒ・シュミット
出演:マックス・ビル、アンゲラ・トーマス、ゴットフリート・ホーネッガー、イニャツィオ・シローネ、ヤコブ・ビル、エルンスト・シャイデッガー
●2008/スイス/94分/
原題: Max Bill - das absolute Augenmaß

マックス・ビルー 絶対的な視点

彫刻家、画家、建築家、グラフィックデザイナー、工業デザイナーと、ジャンルを横断して活動したマックス・ビル。バウハウス最後の巨匠とも言われる彼は、全盛期のバウハウスに入学し、そこで頭角を現し、第二次大戦後にはバウハウスの理念を受け継ぐウルム造形大学の初代校長を務める。理論と数学に基づくコンクリート・アートを追求する一方、政治活動にも積極的に関与していった彼の生涯に迫る。

100 Jahre Bauhaus Filmfestival